

プロジェクタでドリルを提示しよう

eライブラリアドバンスの「いんさつていじドリル」は、プロジェクタで児童生徒に提示するのに適した形式のドリルです。さらに「教材提示ツール」を使えば、問題に書き込みなどができるようになりますので、先生と児童生徒とのインタラクティブ（対話式）な授業ができます。

提示用ドリルの使い方

- ① 「学ぶ」のページから「いんさつていじドリル」をクリックし、「ラインズスクールウェア for eライブラリ提示印刷用」を実行します。

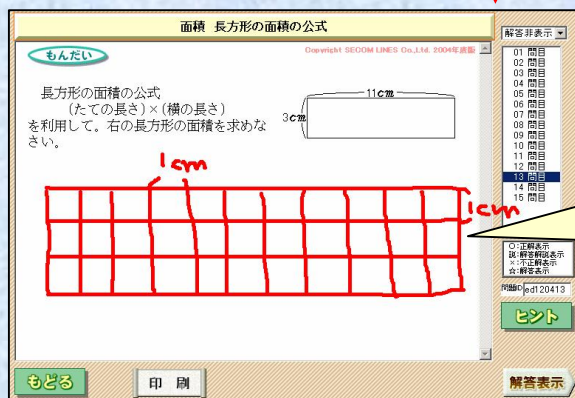
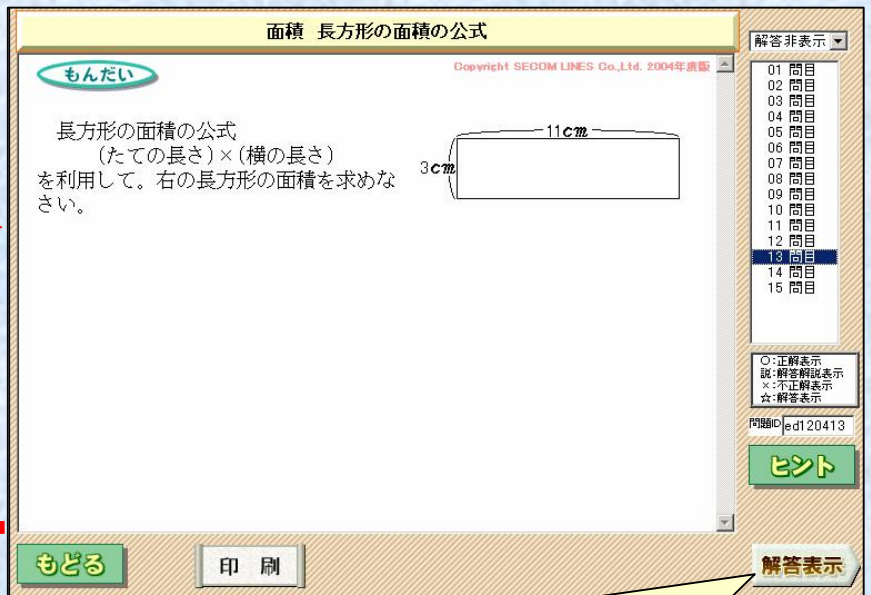
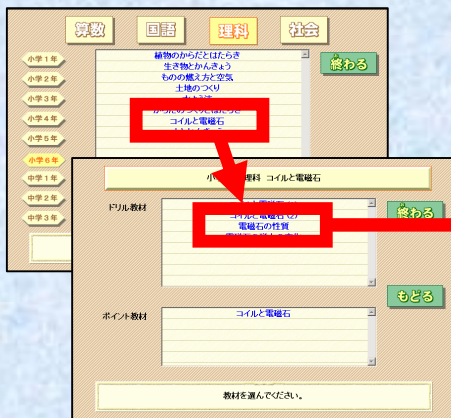


ラインズスクールウェア for eライブラリ 提示用印刷用

プロジェクターを使用した一斉授業や、ステープラに貼り付ける問題の選択などにおつかいください。ダウンロードして用いるラインズ提示用ツールはガイド中からダウンロードできます。ぜひお使いください。

ユーザガイド **実行**

- ② 学年→教科→単元→教材と選んでいき、児童生徒に提示したい問題をプロジェクタで投写します。



提示用ドリルでは、最初、選択肢が表示されていません。児童生徒にまず問題をじっくり考えさせるのに適しています。[解答表示] ボタンをクリックすると選択肢が表示されるようになります（再び非表示にすることもできます）。

教材提示ツールを使えば、問題画面に自由に書き込みができるようになります。考え方のポイントなどを、くわしく児童生徒に説明することができます。

※教材提示ツールは「ラインズスクールウェア for eライブラリ 提示用印刷用」のユーザガイドの中にあります。ダウンロードしてお使いください。